

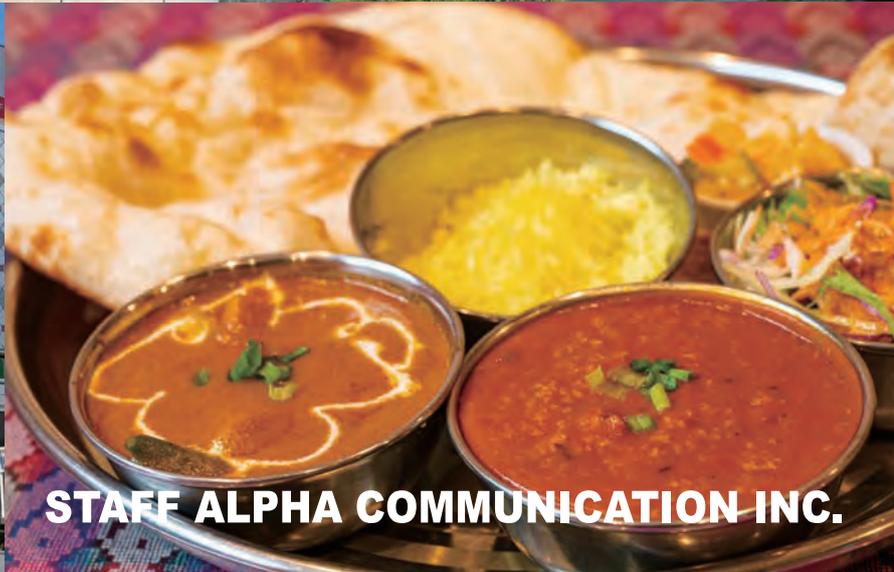


Based in Nishi-Kasai!

STOP WATCH

COMMUNICATION SERVICE PROVIDER

2025 AUGUST Vol.44

A photograph of a modern multi-story building. A sign for 'Tomod's' is visible on the ground floor. The building has large windows and a contemporary design.

STAFF ALPHA COMMUNICATION INC.

TOS事業新たにスタート

前期から当社で推進している物販事業を充実させ、広く業界に積極的かつ戦略的にPRすべく、物販事業を TOS (Temporary Operation Service) 事業とネーミングした。このネーミングの元、物販における人材、ノウハウ、研修システム、マニュアルを体系化させて充実を図ること、新サービスとして訴求をする。春先には MLB とちいかわのコラボショップ運営補助を行い、GWには大阪関西万博でムーミンショップの

運営、パンフィコ横浜でガーデニング展の物販ブース運営、三井アウトレットパークでは韓国発キャラクター物販運営と躍進した。また今期も東京スカイツリー5階のグッズショップの運営を継続受注している。今後も受注領域を拡大し、お客様のニーズに応えることはもちろん、当社ならではのサービスと 31年分のイベントノウハウを武器に 2025年度下期も飛躍を目指す。当社の TOS 事業にご注目いただきたい。



キッズプレイスオペレーション事業 横浜店絶好調

当社のキッズオペレーション事業で管理運営をしている横浜店の売上が絶好調である。トレッサ横浜内にある店舗は、2025年4月北棟から南棟へ移転、リニューアルオープンを飾った。もともと店舗のファンも多く、毎日賑わいを見せていたこの店舗だが、南棟へ移ったことで更なる賑わいを見せている。500平米を超える施設面積と、新たなコンテンツを加え、『主

体性と創造性を育む』という理念のもと、多くのお客様からさらに愛される店舗へと進化を遂げた。日本一のこどものあそび場を目指している当社は、あいさつ強化を目的とした『挨拶コンテスト』の実施や、あそびのプロ育成を目的とした『おもちゃNo1コンテスト』を実施したりと、ガイドのスキル向上にも注力している。猛暑が厳しい昨今、屋内のこどものあそび場が熱い。



公式『Facebook』本格始動

このたび当社では、情報発信の新たな取り組みとして公式『Facebook』ページを開設本格始動を開始。イベント会社としての活動や実績はもちろんのこと、日々の会社内の様子をシェアする『きょうのアルファ』、西葛西の名店紹介や地域のトピックスを

シェアする『西葛西放浪記』などを、土日を除き毎日更新していく予定。社外の皆さまに当社の魅力や強みをより身近に感じていただき、社員一人ひとりの努力や成果を広く知っていただくことを目的として当社のブランド価値向上とファンづくりを目指し発信

今、ごみ拾いがアツい!

「海ごみゼロ」を合言葉に全国で実施される一斉清掃活動「海ごみゼロウィーク」その初日に行われる全国一斉清掃キャンペーンの運営業務を受託。当社は全体運営として参加者の受付からごみ拾いのチーム編成、会場全体誘導や参加者が集めてきたごみの計量・集計と分別処理までを担当した。当日はまるで台風が直撃したような暴風と大雨に見舞われたにも関わ

らず、380名もの参加者が集まり、海洋ごみ問題への意識を高め、楽しみながら海を守る思いを共有する一日の一助となった。また、ごみ拾いを競技化した日本発祥スポーツ「スポ GOMI」の日本 STAGE (予選) が9月に、ワールドカップが日本(東京)で10月に開催される。ごみ拾いの新しいムーブメントとしてもっと認知されるよう全力でサポートしたい。



っていきたい。是非フォローして『いいね』コメント又、シェアで拡散、応援していただきたい。



才気焔発

▽今年の夏は花火大会の会場での事故が多いようである。記憶に新しいのは横浜みなとみらいでの台船の火災。不幸中の幸いで花火師の皆様の生命の危険はなかったと聞く。前日の3日にも淡路島の大会で地上爆発が起きるなど、事故が相次いだ。今年に入ってからなぜ事故が頻発するのかわからないが、安全対策に課題が残る。▽数年前から花火大会の開催を夏か

ら秋に移す主催者も少なくない。これは言わずと知れた猛暑対策であろう。確かに夜とはいえ 30 度を越す熱帯夜では風情より先に熱中症の危険が伴う。▽ただでさえ猛暑でイベント事が少なくなりつつあるこの季節にあって、このような事案が続くと夏場の風情がどんどん少なくなってくるのではとの懸念が生まれる。北海道では安全が担保できないと花火大会を中止した主催者もいたようだ。

▽我々がかつて体験してきた夏の風物詩が少しずつ様変わりしているということになる。40 度を超える気候の中にあつて夏はもはや命がけの季節といっても言い過ぎではないように感じる。海水浴場でさえ熱中症患者が多発する令和の夏はもしかしたらイベントなど開かずじっと秋を待つような季節となるのだろうか。秋を迎えてのイベント復活が望まれるのは我々の業界だけではないはずである。

家族とともに祝う周年案件をサポート

1950年創業のガス商社が主催する75周年記念の式典と懇親会関連業務を受託した。約1500名の社員とその家族が参加し、式典では75周年の歴史と事業領域の広がりをストーリー仕立てで声優が語るオリジナル朗読劇を上演。懇親会では主催関連会社のバルーン造作部隊が場

内を圧巻のバルーンで彩り、他ではなかなか見られないような造形物の前に記念写真を撮影する参加者の姿が多く見られた。また、参加された100名ほどのお子様向けに、当社の得意とする「お子様の遊び場」を場内に再現し、小さな参加者の心にも残る空間を提供した。



飛行機好き必見! 「Wings2025」福島開催

現在スタッフアルファでは、航空ショーイベントのプロデュースにチャレンジしている。2019年に千葉幕張で行われたレッドブルエアレースで優勝したあの日本人パイロット、室屋義秀さんのチームと

手を組み、10月に福島で実施する曲技飛行のフェス、「Wings2025」を立ち上げる。信じられない飛行を目の当たりにできるこのイベント、飛行機好きの方や観覧希望の方はぜひお声がけください。



ごあいさつ

残暑お見舞い申し上げます。毎年記録を更新される猛暑に加えて、線状降水帯の発生で九州熊本エリアをはじめとした全国各地が水害に見舞われる昨今ですが、自然現象に加えて国際政治や経済の場面でも大きなねりが起こっているようです。先日来、株価は高値を付け、トランプ大統領の発言に一喜一憂する我が国の経済シーンもだいぶ落ち着かざるを得ない状況の中、振り返れば参院選以降、バツとしない国内政治の舞台はもはや政党の勢力分布が変わりつつあるのを感じます。さてそんな中、弊社はおかげさまで超多忙な7月度をどうにか乗り越え、気付けば安定の8月を迎えております。安定と申しまして7月の反動でどうもまったくした日々日常を過ごすこと数日です。こんな時は社員にもすっかりたまった有休を取得させ、秋に向けての充電を進めておりますが、根が働きものなのでしょうか、なかなかスイッチをオフにできないものもいるようです。そんな8月を過ぎると2025年度もいよいよ後半に入ります。秋冬の案件に向けてエンジン全開で取り組んでいく所存でございます。この季節、お取引先様にご指導いただきながらも、若手が一段と成長するシーズンでもございます。どうかあらゆるビジネスの局面でスタッフアルファにご期待いただけますようよろしくお願い申し上げます。そして後半戦もぜひとも弊社を引き続いてのパートナー企業としてご愛顧いただきたくお願い申し上げます。協力会社様に於かれましては弊社とともに成長する仲間として今まで以上のお力添えをお願い申し上げます。末筆ですがお取引先各社様のご繁栄と皆様のご健康をお祈りして夏のご挨拶とさせていただきます。

個性豊かな新卒入社! 活躍に期待

当社では今年も新卒2名が新たに加わり、一層の活気を見せている。事業推進室の迎万凜乃は美術系大学出身、持ち前の明るさであつという間に周囲と打ち解け、様々な案件に積極的に取り組んでいる。クルーマネジメント部の青山桃子は愛知県出身、一見物静かに見えるが、その内面に秘めた熱い情熱で信頼を

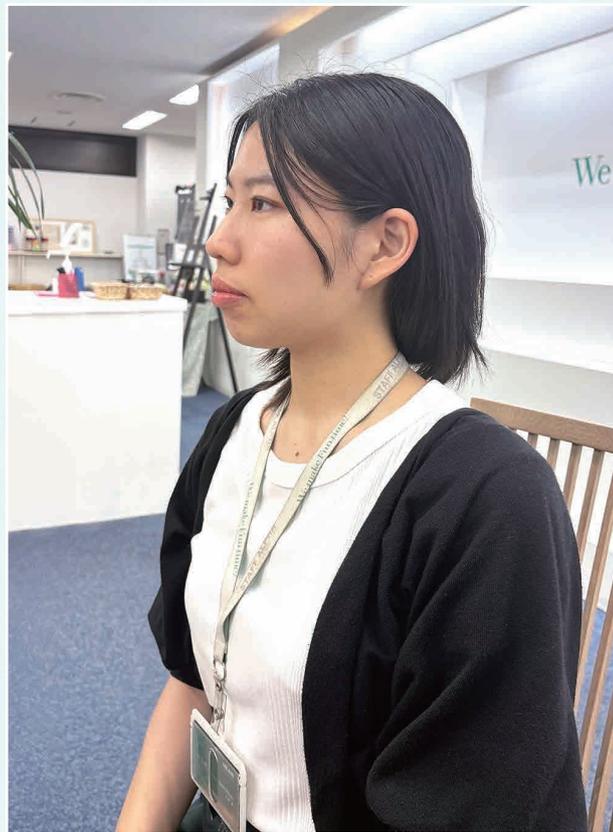
重ね、現場での活躍の場を広げている。異なる個性を持つ2人だが、共通するのは「面白い仕事に関わりたい、作りたい」という熱意。まだ駆け出しではあるものの、既に「Fun time」の心はしっかりと持ちあわせており、彼女たちの魅力と想いを活かして、今後大いに飛躍することに期待したい。



アルファノヒト

ALPHANOHITO

毎号、スタッフアルファの「ヒト」にフォーカスしてご紹介する本コーナー。今回は、入社5年目となるプロモーション企画制作部 平野歩にインタビューを行った。



株式会社スタッフアルファコミュニケーション
プロモーション企画制作部 チーフ

平野 歩 (ひらの あゆみ)

Profile

出身：神奈川県
入社年度：2021年(新卒)
趣味：博物館めぐり・クッキー缶収集

— スタッフアルファ(以下SA)に入社した理由を教えてください。

大きな理由としては私自身が楽しいと思えるものを仕事にしたからです。学生の頃は漠然とした不安もあり働くことに対してネガティブな感情を抱いていたので、どうせなら面白いことをしたいなと考えていました。ちょうどコロナ禍での就活で難航していた時期に出会ったのがSAだったので、会社説明会で松山社長から企業理念について伺い、「ここだ!」と縁を強く感じた事を覚えています。

— SAの仕事に就いてやりがいを感じる瞬間を聞かせて下さい。

現在は、企業の表彰式典や自治体が主催するイベントの企画・運営や事務局業務に携わっています。期間も規模も大きな案件が多いため、準備段階で細かい調整がありプレッシャーを感じることも少なくありません。しかし、苦労した分、イベントが無事に終わった瞬間の達成感は格別です。

特に、会場にいらつしやる参加者の楽しそうな様子や、笑顔で帰られる姿を目にした時、「この仕事をやってよかった」と心から思えます。自分の関わった仕事で、人の記憶に残る体験につながるものが、何よりのやりがいだと思います。



— 仕事をする際に意識していること、大切にしている事はありますか？

仕事をするうえで特に気を付けているのは、「自分のアウトプットを受け取った相手はどう感じるか」という視点です。たとえば資料ひとつにしても、ただ自分が分かればいいのかではなく、相手にとって理解しやすい表現や流れになっているかどうかを常に考えています。また、相手が気持ちよく且つ分かりやすく受け取れるように、言葉の選び方や伝えるタイミングにも配慮するようにしています。結果として、その積み重ねが大事な信頼関係につながると考えているので、日々大切にしているポイントです。

— これまでで印象に残っている案件やエピソードがあれば教えてください。

これまで携わった案件の中で特に印象に残っているのは、アニメや映像を活用した自治体の町おこしイベントです。私はステーション全体の統括を担当していたのですが、短い時間の中で数多くのコンテンツを展開するプログラムだったため、出演者の方々と入れ替わり立ち替わりで打ち合わせを重ねる必要があり、当日は目が回るような忙しさでした。

それでも無事に終えることができ、ホッとした気持ちで会場を後にしたのですが、帰りの駅で出演者のひとりに偶然お会いしたんです。その方が私のことを覚えてくださっていて、「今日はありがとうございました」とわざわざ声を掛けていただきました。ほんの一言でしたが、とても嬉しく、苦労が報われた瞬間でした。今でもその出来事は強く印象に残っています。

— 仕事が忙しい時のリフレッシュ方法や、モチベーションの保ち方を教えてください。

楽しみを増やすことです。大変な時でも「これが終わったら〇〇が待っている!」と思ってもうひと踏ん張りしています。

出張先でも時間は限られていますが、ちょっとした観光したりと新しい刺激をもらうことでリフレッシュしています。

— 業務とは別に新卒リクルートでも積極的に活動されているとのことですが？

気づけば4年くらいは携わっています。本業と並行して取り組むことになると、正直大変な部分もあります。ただ、それ以上に「会社の未来をつくる大切な業務」だと捉えているので、できる限り時間をつくって関わるようにしています。

学生の方と接していると、自分自身も初心に立ち返ることができたり、新しい視点をもらえたりと学びも多いです。だからこそ、今後はもっと積極的に動いて、会社の魅力をしっかり伝えられる存在になりたいと思っています。

— 今後チャレンジしたいこと、取り組んでみたい企画はありますか？

新しい形の事務局案件にチャレンジしたいです。事務局業務は、表には出にくい反面、イベント全体を支える要の部分であり、関係者との調整や運営の仕組みづくりなど、非常に奥深い役割があります。その分、大変なこと多いですが、チーム全員でトライアンドエラーを繰り返しながら乗り越えていく過程は、他では得られない貴重な経験だと感じています。これまでの知見を活かしつつ、新しい挑戦を通じてまたチームと二階に成長していけたら嬉しいですね。

スタッフアルファのオフィシャルブログ

スタッフアルファ社員の「Fun time」を毎日お届け!
なんと、180日以上連続更新中。
西葛西おすすめのランチから、週末の趣味まで…
プライベートをちらりと公開中、是非のぞいてみてください。

